

別表 1

ブライダルホテル科 教育課程

区分			履修科目名	1年		2年		合計			
				単位	時間	単位	時間	単位	時間		
必修科目	ブライダル分野	講義	ブライダルコーディネート技能検定Ⅰ	1	30			1	30		
			ブライダルコーディネート技能検定Ⅱ	1	30			1	30		
			全米ブライダルプランナー検定Ⅰ	1	30			1	30		
			全米ブライダルプランナー検定Ⅱ			1	30	1	30		
			現代ブライダル総論			1	30	1	30		
			現代ホテル理論Ⅰ			1	30	1	30		
			現代ホテル理論Ⅱ			1	30	1	30		
			ホテルビジネス基礎Ⅰ	1	30			1	30		
			ホテルビジネス基礎Ⅱ	1	30			1	30		
			ブライダルコスチュームⅠ	1	30			1	30		
		ブライダルコスチュームⅡ	1	30			1	30			
		実習	ブライダルプロデュースⅠ	2	60			2	60		
			ブライダルプロデュースⅡ			2	60	2	60		
			セレモニープロデュースⅠ	2	60			2	60		
			セレモニープロデュースⅡ			2	60	2	60		
			ブライダル企画運営			1	30	1	30		
			ホテルマーケティング			1	30	1	30		
			料飲実務Ⅰ	1	30			1	30		
			料飲実務Ⅱ			1	30	1	30		
			フラワーコーディネートⅠ	1	30			1	30		
			フラワーコーディネートⅡ			1	30	1	30		
			和装・着付けⅠ			2	60	2	60		
			京都和婚Ⅰ			1	30	1	30		
			京都和婚Ⅱ			1	30	1	30		
			ブライダルプランニング演習			1	30	1	30		
			ブライダル広告研究			1	30	1	30		
			インターンシップⅠ	2	60			2	60		
			インターンシップⅡ	2	60			2	60		
	トータルビューティ分野		講義	色彩学Ⅰ	1	30			1	30	
		色彩学Ⅱ				1	30	1	30		
		実習	ブライダルヘアメイク			1	30	1	30		
			メイクアップ基礎	2	60			2	60		
			メイクセラピー			2	60	2	60		
			ヘアアレンジ	1	30			1	30		
			ビジネス基礎分野 キャリア基礎力分野	講義	ビジネス基礎Ⅰ	1	30			1	30
					ビジネス基礎Ⅱ	1	30			1	30
	硬筆書写Ⅰ	1			30			1	30		
	硬筆書写Ⅱ	1			30			1	30		
	サービス接遇Ⅰ	1			30			1	30		
	サービス接遇Ⅱ	1			30			1	30		
プレゼンテーション・ディベート学Ⅰ	1	30					1	30			
プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ					1	30	1	30			
英会話基礎	1	30					1	30			
英会話応用					1	30	1	30			
観光英語Ⅰ	1	30					1	30			
観光英語Ⅱ					1	30	1	30			
ブライダル企業研究	1	30				1	30				
実習	キャリアデザイン	1	30				30				
	基本IT技術Ⅰ	2	60			2	60				
	基本IT技術Ⅱ	2	60			2	60				
	基本IT技術Ⅲ			2	60	2	60				
	ソーシャルメディア			1	30	1	30				
必修科目計				36	1080	28	840	64	1,920		
選択科目	ビジネス基礎力分野	講義	論理的思考力基礎			1	30	1	30		
			ボランティア活動Ⅰ			1	30	1	30		
			ボランティア活動Ⅱ			1	30	1	30		
選択科目計				0	0	3	90	3	90		
総計(必須+選択)				36	1,080	31	930	67	2,010		

※単位：90分 × 15週の 座学(授業) または 実習 をもって1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途決定する

※科目履修(単位)認定の要件：80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

※卒業の要件：必修科目 64単位(1,920時間)および選択科目2単位(60時間)の合計66単位(1,980時間)の履修

科目名 ^{4:}	ブライダルコーディネート技能検定Ⅰ ^{2:}			学科名 ^{3:} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{6:}			1学年 ^{3:}
授業形態 ^{4:}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5:}	4月 ^{5:}	該当資格区分 ^{6:}	国家検定 ^{6:}	
教育課程区分 ^{7:}	必修	単位数 ^{8:}	1	時間数 ^{9:}	30	該当資格名称 ^{10:}	国家検定・3級ブライダルコーディネート技能士	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11: 国家検定3級ブライダルコーディネート技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する。 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ。 11: 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12: 国家検定3級ブライダルコーディネート技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する。 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ。 12: 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ。							
受講条件	13: YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名 ^{14:}	14: Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（監修・発行） 16: 2025年4月1日 第5版				教材名 ^{15:}	15: オリジナルプリント 17: 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会過去問題		
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 https://www.bia.or.jp/		
関連前科目	18: 該当なし				関連後科目 ^{19:}	ブライダルコーディネート技能検定Ⅱ		

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月16日 ¹¹	オリエンテーション	検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内 結婚とは 結婚の定義 検定の趣旨・特徴・受験手続きについて理解し、結婚の定義とその意味について基礎知識を得る	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第2回	4月23日 ¹²	Lesson1 日本の結婚式	日本の結婚式: 歴史と文化 日本の結婚式の歴史と文化的背景を学び、現代の結婚式文化における特徴を説明できる	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第3回	5月7日	Lesson2 ブライダルビジネス	ブライダルビジネスと呼ばれる業種を学ぶ・市場の推移を知る ブライダルビジネスの構造とその市場推移を理解し、業界全体の動向を把握する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第4回	5月14日	Lesson2 ブライダル業種	結婚式会場・披露宴会場・その他ブライダルビジネスについて 結婚式会場や披露宴会場、その他の関連業種について学び、それぞれの役割を説明できる	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第5回	5月21日	Lesson2 ブライダル業界の1年 ¹⁶	繁忙期・閑散期・集客のシステムについて 繁忙期・閑散期の特徴を理解し、それに応じたサービス提供やスタッフ配置、集客施策の重要性を理解する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第6回	5月28日	復習テスト Lesson3 ブライダルの基礎 ¹⁸	検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説 (第1回～第5回の内容) 見合い・結納について・顔合わせについて 結婚の基本的な知識(見合い・結納・顔合わせ)の重要なポイントを整理する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント、公益社団法人日本
第7回	6月4日	Lesson3 ブライダルの基礎 結婚までのスケジュール	新郎新婦の結婚までのスケジュール 検討必要事項及び時期を学ぶ 新郎新婦の結婚までのスケジュールや、必要な検討事項とその時期について学ぶ	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第8回	6月11日	Lesson3 ブライダルの基礎 挙式スタイル キリスト教式	様々な挙式: キリスト教式・シビルマリッジ キリスト教式やシビルマリッジなど、異なる挙式スタイルの特徴を理解し、説明できるようになる	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第9回	6月18日	Lesson3 ブライダルの基礎 挙式スタイル 神・仏前式	様々な挙式: 神前式・仏前式・人前式 神前式、仏前式、人前式など日本独自の挙式形式の特徴を学び、各スタイルの違いを説明できる	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第10回	6月25日	復習テスト	検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説 (第7回～第9回の内容) 披露宴～二次会・海外ウェディング、新婚旅行について 披露宴から二次会、海外ウェディング、新婚旅行までの流れを把握し、 Lesson 1～3の知識を統合的に整理する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会過去問
第11回	7月11日	Lesson4 コーディネーター業務 基礎知識	コーディネーター業務とは コーディネーター業務の基礎知識を習得し、具体的な業務内容を理解する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第12回	7月9日	Lesson4 コーディネーター業務 新規接客業務 ^{Lesson4}	新規接客業務から成約業務まで 新規接客から成約に至るまでの業務プロセスを学び、実践的なスキルを習得する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第13回	7月16日	Lesson4 コーディネーター業務 プレゼンテーションについて	プランニングとプレゼンテーションの手法 プランニングとプレゼンテーションの手法を学び、効果的な提案力を身につける	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント
第14回	7月23日	復習テスト Lesson1～4までの総復習	検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説 (第1回～第13回の内容) 検定の授業範囲Lesson1～Lesson4の総復習 Lesson 1～4の内容を総復習し、検定試験に向けて必要な知識を再確認する	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、オリジナルプリント、公益社団法人日本
第15回	9月3日	期末テスト	授業第1回～14回の内容で成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する	オリジナル試験問題 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会過去問題

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

①成績判定試験 形式：選択問題、設問数50問（1問1点、満点50点）、記述問題40問（1問1点～2点、満点40問） 文章記述問題2問（1問5点、満点10点） 時間配分60分、配点調整100点満点を60点満点に換算 【配分：60％】								
②確認テスト実施 形式：選択問題、設問数20問（1問1点、満点20点、減点方式） 時間配分15分、配点調整60点満点を20点満点に換算 【配分：20％】								
③課題提出 提出期日までに未提出につき－3点 ④授業態度 1コマ欠席につき－1点、授業中に2回注意を受けた場合－3点 【配分：10％】 【配分：10％】 上記の総合得点が60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分％にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法、該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位	2位				20	優（A）：89点～80点
③提出物				2位	1位		10	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補習の実施後、再試験1回のみ

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	國定 章子
				実務経歴紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 ⁴	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅱ ²			学則 ⁵ 上の名称。略してはならない。 ⁶		学年	³
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	国家検定
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	国家検定・3級ブライダルコーディネーター技能士
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 国家検定3級ブライダルコーディネーター技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ 11. 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネーター業務に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 国家検定3級ブライダルコーディネーター技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ 12. 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネーター業務に役立つ						
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名	14. Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（監修・発行） 2023年11月1日 第4版			教材名	15. オリジナルプリント		
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC（教員用）			2. 関連サイト	17. 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 https://www.bia.or.jp/		
関連前科目	18. ブライダルコーディネーター技能検定Ⅰ			関連後科目	19. セレモニープロデュースⅡ ブライダルプロデュースⅡ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	10月1日	オリエンテーション	検定試験に関する詳細説明・前期復習・後期授業範囲について学習する BIA検定の試験概要を理解し、学習計画を立てる 前期に学んだ内容を復習し、後期の学習に備える	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第2回	10月8日	Lesson5 打合せ業務	成約から披露宴本番までの打合せの流れについて学習する 披露宴の打合せの基本的な流れを理解し、実践できる 新郎新婦の希望を適切にヒアリングし、提案できる	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第3回	10月15日	Lesson6・Lesson8 アイテムの選定・当日業務	会場コーディネイト・テーブルプラン・テーブルセッティングについて理解する 披露宴の会場コーディネートを理解し、適切なアイテムを提案できる ゲストの人数やテーマに応じたテーブルプランを作成できる	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第4回	10月22日	Lesson6・Lesson7 アイテムの選択・手配業務	ペーパーアイテム（招待状・席札など）について発送時期や基本ルールを学習する ペーパーアイテムの役割や種類を理解し、適切に手配できる 招待状の作成・発送スケジュールを組むことができる	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第5回	10月29日	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説 これまで学んだ内容を整理し、BIA検定への理解を深める 間違えた箇所を分析し、弱点を克服する	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第6回	11月5日	Lesson6 ブライダルアイテムの選択	婚礼料理・飲み物・ウェディングケーキについて学習する 披露宴の食事・飲み物・ケーキの選び方を理解し、適切な提案ができる 各料理のコース対応について説明できる	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第7回	11月12日	Lesson6・Lesson8 アイテムの選択・当日業務	披露宴の進行・司会や音響の役割・各種演出について理解する 司会や音響の役割を理解し、当日の進行計画を立てられる	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第8回	11月19日	Lesson6・Lesson8 アイテムの選択・当日業務	披露宴の進行・司会や音響の役割・各種演出について理解する 各種演出の効果や準備の流れを把握できる	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第9回	12月7日	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第10回	12月11日	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する 引出物や引菓子の選び方・手配方法を理解する	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第11回	12月17日	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する 写真や映像素材の必要性を説明でき、手配の流れを把握する	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第12回	1月14日	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う Lesson1～8の内容を総復習し、検定試験に向けて必要な知識を再確認する	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第13回	1月21日	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う Lesson1～8の内容を総復習し、検定試験に向けて必要な知識を再確認する	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第14回	1月28日	総復習	コーディネーター業務の総復習を行い期末テスト対策を実施 これまで学んだ知識を総復習し、実務で活かせるレベルまで習得する 期末テストに備えて重要ポイントを整理する	ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第15回	2月4日	期末テスト	授業第1回～14回の内容で成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する	オリジナル試験問題

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

出席率80%以上および、①成績判定試験（100点満点の試験で60点以上で合格） ②確認テスト実施（各回6割以上の正答で合格） ③授業態度（評価基準を記載）
上記の総合得点で60点以上を合格とする 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴					作成者	Check者（確認者）
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所				
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

科目名 ^{4.}	現代ブライダル概論		学科名 (コース名) ^{2.}	ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{3.}	2学年
授業形態 ^{4.}	講義	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	本授業では、現代のブライダル業界における構造、職種、挙式スタイル、顧客ニーズ、業界課題、最新トレンドなどを幅広く教授する。業界の全体像を理解するとともに、マーケティングやホスピタリティの視点を養い、今後の進路選択や現場での実務に活かす。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	現代のブライダル業界における構造、動向、トレンド、課題、そして将来展望について、実務的かつ理論的に学ぶ							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名 ^{14.}	該当なし				教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント		
設備名・機器名 ^{16.}	教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ^{17.}			
関連前科目 ^{18.}	該当なし				関連後科目 ^{19.}	該当なし		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月1日	ガイダンス・ブライダル産業の全体像	授業の目的と進め方の確認。日本と世界におけるブライダル業界の現状と特徴を学ぶ。現代のブライダル業界の全体像と職種の幅広さを理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	10月8日	結婚式の変遷と社会的役割	昭和・平成・令和と時代ごとの結婚式スタイルの違いと背景を学ぶ。結婚式の社会的意味や変遷について説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	10月15日	ブライダルに関わる職種とその役割	プランナー、ドレスコーディネーター、司会、フローリストなどの職種を理解する。ブライダルに関わる各専門職の業務内容と連携を説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	10月22日	結婚式場の種類と特徴	ホテル、ゲストハウス、専門式場、レストランなどの施設形態を比較する。各式場の特徴とメリット・デメリットを理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	10月29日	挙式スタイルの多様化	神前式、教会式、人前式、海外挙式など多様な挙式の形式と文化背景を学ぶ。挙式スタイルの違いと新郎新婦の選択傾向を説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	11月5日	ブライダルマーケティング① ターゲットと動向	Z世代・ミレニアル世代の価値観と消費行動を学ぶ。現代の顧客ニーズとターゲットングの基本を理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	11月12日	ブライダルマーケティング② SNSと情報発信	Instagram・TikTok等を活用した集客手法と口コミ戦略。SNSがブライダル業界に与える影響と活用法を理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	11月19日	最新トレンドと顧客ニーズ	SDGs婚・ナチュラル婚・少人数婚・オンライン婚など現代的傾向を学ぶ。トレンドの背景を読み取り、自分の意見を持てるようになる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第9回	12月7日	ブライダル業界の課題① 少子化と市場縮小	統計をもとにした結婚数・挙式件数の現状分析と業界の工夫。業界の構造的課題を把握し、解決に向けた視点を養う。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第10回	12月11日	ブライダル業界の課題② 人材不足と労働環境	離職率・労働時間・働き方改革の現状を考察する。業界内の労働課題を理解し、自身の将来像を考える。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	12月17日	海外ブライダルとの比較	欧米・アジア諸国のブライダルスタイルや文化との違いを学ぶ。日本との違いを踏まえた国際的な視座を持てるようになる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	1月14日	ブライダル×テクノロジー	VR挙式、オンライン相談、AIプランニングなどの最新技術を紹介。テクノロジーの導入による変化と可能性を説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第13回	1月21日	顧客満足とホスピタリティ	接客の基本、クレーム対応、感動体験の創出について考える。顧客満足とホスピタリティの概念を理解し、実践の意識を高める。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第14回	1月28日	業界人による特別講義 or ケーススタディ	現場のプロによる講義、または事例を元にしたグループ討議を実施。事例から学び、業界理解と自身の志望動機を深める。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第15回	2月4日	総まとめ・レポート発表	これまでの学びをもとに、現代ブライダルにおける提案をレポート形式で発表。学んだ知識を統合し、自らの考えを発信・表現できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
【プレゼンテーション】 【作品】 各学生が構成した商品プランを作成した資料、アイテムを効果的に使用し、説得力(メリット・効果)、対応力(顧客ニーズ)、表現力(オリジナリティ)などの提案力をプレゼンテーション実技にて評価する。 【課題レポート】 【授業態度】 授業毎の要点に対する理解度をレポート提出にて評価する。他学生のプレゼンテーション実技中において、聞き手としての態度、質問、合評レポート提出にて評価する。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀 (S) : 100点～90点
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点～80点
③課題レポート		1位	2位				10	良 (B) : 79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可 (D) : 69点～60点
⑤作品			1位			2位	20	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション				2位		1位	60	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	國定 章子		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 ¹	現代ホテル理論Ⅱ		学科名 ² (コース名)	5. 6. プライダルホテル科		学年	3 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ¹⁶	該当なし
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
11. 科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		美しい所作を身に付けると同時にお客様へのおもてなしを体現できる人間になる。マナープロトコール検定3級合格を目指す					
12. 科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		立ち方・座り方・食事のマナーを知る。マナープロトコール検定を取得し、社会人になった際にマナーに沿った対応ができるようになる					
13. 受講条件		YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること					
14. 教科書名		マナー&プロトコールの基礎知識 マナー&プロトコール協会 （監修・発行）		15. 教材名		該当なし	
16. 設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC（教員用）		17. 関連サイト		https://www.jec-jp.org/hken/about/hken.php 一般財団法人日本ホテル教育センター	
18. 関連前科目		該当なし		19. 関連後科目		該当なし	
20. 授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位							
回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標		使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション 相手を敬う表現を正しく使う		本科目の学習目標を知る 明快で尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使用した文章を作成する 主語と述語を近づける、相手を敬う表現を正しく使うことができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第2回	10月6日	適切な指示代名詞を使う		適切に接続詞を入れることで、文と文をつないで、文章を整理し読みやすくする 修飾・被修飾関係をはっきりさせる・適切な指示代名詞を使うことができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第3回	10月20日	短い文章を作成する		要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する 効果的に接続詞を使うことができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第4回	10月27日	わかりやすい文章を作成する		要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する 一文を短くする・一文には1つの事柄だけを入れることができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第5回	11月10日	言葉の重複使用を避ける		単調な、またあいまいな印象を与える言葉の重複使用を避ける 二重否定を避けることができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第6回	11月17日	事実と推測を区別する		読み手の誤解を防ぐための文章を作成する 事実と推測を区別することができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第7回	12月1日	理解しやすい構成にする		読み手が即座に全体像を把握できる構成にする 読み手が即座に全体像を把握できるような理解しやすい構成にすることができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第8回	12月8日	国際プロトコールの基本		国際化社会において必要とされる、外交上のマナーやしきたりを学ぶ 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第9回	12月15日	食事のマナー		各国料理のテーブルマナーについて学ぶ 洋食マナーの基礎を学ぶことができ、社会人になってから自然とマナーを守れるようになる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第10回	12月22日	冠婚葬祭と贈答のマナー		日本の、特に葬しきたりと贈り物・お返しのルールを学ぶ 冠婚葬祭と贈答のマナーを理解することができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第11回	1月19日	社会人に必要なマナー振り返り		他科目で修得した社会人として必要なマナーについて、マナー・プロトコール検定試験前に振り返る		マナー&プロトコールの基礎知識	
第12回	1月26日	論理的な文書をつくる（1） 企画書		簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ わかりやすい企画書を作成することができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第13回	2月2日	論理的な文書をつくる（2） メール文		簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ わかりやすいメール文を作成することができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第14回	2月4日	論理的な文書をつくる（3） 議事録		情報共有を目的とした議事録において必要な要素を学ぶ 論理的な議事録を作成することができる		マナー&プロトコールの基礎知識	
第15回	2月9日	期末テスト		成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する		マナー&プロトコールの基礎知識	
21. 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
①成績判定試験				【配分：50％】			
②確認テスト実施				【配分：20％】			
③課題提出				【配分：20％】			
④授業態度				1コマ欠席につき1点 授業中に2回注意を受けた場合-3点			
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％
①成績判定試験		1位	2位				50
②確認テスト		2位	2位				20
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		20
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者		村瀬 孝	シラバス承認者		授業担当教員		
					村瀬 孝		
					実務経験紹介		
					学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	
改1						Check者(確認者)	
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 ¹	ブライダルコスチュームⅠ		学科名 ² (コース名)	5. ブライダルホテル科 ⁶			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ABC協会認定ドレスコーディネータ検定	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 本授業では、衣裳の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコードなどの扱い方を教授する。 洋装（ウェディングドレスやカラードレス）・アクセサリー・パールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、 ブライダルの現場で即戦力となることを目指します。 1 当該科目は、現場で実際にお客様にフィッティング・メンテナンス実施の際に役立つ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 ①衣裳・小物の種類を理解する。 ②ドレスの着せ方を学び、フィッティングができる。 ③補正の方法やドレスメンテナンスや、扱い方を知る。 13 当該科目は、現場で実際にお客様にフィッティング・メンテナンス実施の際に役立つ。							
受講条件	14 YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名	15 該当なし				教材名	オリジナルプリント		
設備名・機器名	16 教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト	17		
関連前科目	18 該当なし				関連後科目	19 ブライダルコスチュームⅡ		
20. 授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月15日	ガイダンス・コスチュームの概要	ブライダルコスチュームの基本的な種類や、コスチュームアドバイザーの役割について理解する				オリジナルプリント	
第2回	4月24日	ウェディングドレスの基礎①	ドレスコードや基本的なデザインや用語を理解し、アクセサリーや小物の種類を説明できる				オリジナルプリント	
第3回	5月13日	ウェディングドレスの基礎②	ウェディングドレスの素材やサイズ展開について理解し、説明できる				オリジナルプリント	
第4回	5月20日	メンズコーディネート・列席衣裳について	男性の洋装の基礎知識を理解し、ドレスとの組み合わせ方を習得する また、列席衣裳について理解する				オリジナルプリント	
第5回	5月27日	ウェディングドレスの基礎③・確認テスト	これまでの授業内容確認テスト実施 ドレス、パール、パニエの取り扱いやメンテナンスの重要性を理解し、適切な管理方法を説明できる				オリジナルプリント	
第6回	6月3日	フィッティング① 基礎編	ウェディングドレスの着せ方や選び方を学び、ドレス下着の重要性を理解できる				オリジナルプリント	
第7回	6月10日	フィッティング② 基礎編	お客様の体型やサイズに合わせたフィッティング技術を習得する				オリジナルプリント	
第8回	6月17日	フィッティング③ 基礎編	ドレスマネキンの着せ方、タキシードの着せ方を学ぶ（グループワーク）				オリジナルプリント	
第9回	6月24日	スタイリングの実践①	タキシードとドレスの組み合わせを理解し、新郎新婦のスタイリング提案ができる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第10回	7月1日	スタイリングの実践②	体型や悩みに応じたフィッティング技術を応用し、補正の基本テクニックを実践できる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第11回	7月10日	和装コーディネート①	和装婚礼衣裳の種類と特徴を理解し、基本的なコーディネートの仕方を説明できる				オリジナルプリント	
第12回	7月17日	和装コーディネート②（衣裳店見学）	現場のコスチュームアドバイザーからお話を聞き、和装の試着体験などをさせていただく コスチュームアドバイザーの役割をより理解する（レポート提出）				オリジナルプリント	
第13回	7月22日	スタイリングの実践③	会場や新婦の雰囲気に合わせてスタイリングの工夫ができる ドレスショップでの接客や提案の基本を学び、実際にドレスの着付けができる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第14回	9月2日	スタイリングの実践④	ドレスショップでの接客技術を向上させ、顧客の要望に応じた提案ができる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第15回	9月9日	前期試験	授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 前期の学習内容を振り返り、実践的な知識・技術が身につけていることを確認する				オリジナル試験問題	
21. 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験：選択問題12問、記述問題1問（各1～2点）※100点満点を60点満点に換算 ②確認テスト：選択問題4問、記述問題3問（各1～2点）※50点満点を10点満点に換算 ③課題レポート：提出期日未提出の場合は-2点 ④授業態度：授業中の注意（居眠り、忘れ物含む）3回行った場合、-3点 ⑤プレゼンテーション：スタイリン実践での目的を理解出来ている（5点）、グループワークでの役割を果たしている（5点）								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位					10	優（A）：89点～80点
③課題レポート				1位			5	良（B）：79点～70点
④授業態度			3位	2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション			2位	3位		1位	10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	北 昌幸	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	北 昌幸
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 ^{4.}		ブライダルプロデュースⅠ		学科名 (コース名)		ブライダルホテル科 ^{6.}			学年	1学年
授業形態 ^{4.}		演習	学期	後期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし		
教育課程区分 ^{7.}		必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		模倣的な式典と披露宴を追加することで、学生は机上の学習だけでは得られない、時間配分、役割ごとの連携、臨機応変な対応といった実践的なスキルを習得できる。さらに、リハーサルと本番を通して、計画と実行のギャップを肌で感じ、より深い学びへと繋げることができる。振り返りの時間を通して、成功点だけでなく、改善点や課題を明確にすることで、今後の学習や実際の現場での活躍に大きく貢献することが期待できる。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		記入要領:書体BIZ UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。教育課程の到達目標(全科目)に対する、当該科目の位置づけとそれに対する到達基準。できる(わかる/理解する)で表現する。								
受講条件		記入要領:書体BIZ UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。当該科目を受講するにあたり必要な条件…国家資格、国家検定、民間検定、単位取得済科目、知っておかなければならない知識や技術を記述すること。								
教科書名		Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2023年11月1日 第4版				教材名 ^{15.}	オリジナル教材 ^{17.}			
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC(教員用) 音響・照明(ミキサー) マイク インカム				関連サイト ^{19.}	参考となる引用、関連するページタイトル/URL			
関連前科目		該当なし				関連後科目	ブライダルプロデュースⅡ ^{20.}			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月3日	シラバスの説明、学習計画の作成			学習目標 各自の目標を共有し、チームの方向性を調整 コースの目的・学習目標を理解し、学習計画を立てられる					
第2回	10月3日	ブライダル業界の最新動向を調査・発表			最新情報を収集・分析を行い、プレゼン資料を作成 ブライダル業界の最新動向を把握し、学ぶべきポイントを認識できる					
第3回	10月10日	アクティブラーニングの実践方法を体験			学習手法の選定 各自の学習スタイルを振り返り、最適な手法を議論					
第4回	10月10日	ブライダルプロデュースの基礎を講義			研究テーマの選定 文献や事例を調査し、重要ポイントを抽出					
第5回	10月17日	世界の結婚式について調査・プレゼン			日本(地方)の結婚式を調査するか 資料を収集し、文化背景を比較分					
第6回	10月17日	挙式スタイルの基礎知識			各挙式スタイル(教会式、神前式、人前式、仏前式など)の担当 担当する挙式スタイルの特徴、流れ、歴史、宗教的背景などを調査し、チーム内で共有					
第7回	10月24日	披露宴の流れと構成			披露宴の各プログラム(入場、祝辞、乾杯、食事、余興、退場など)の担当 担当するプログラムの目的、一般的な流れ、注意点、最新の傾向などを調査し、チーム内で共有					
第8回	10月24日	ブライダル関連法規			関連する法律や規制(消費者契約法、著作権法、食品衛生法、JASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)など)					
第9回	11月7日	顧客心理とコミュニケーション			新郎新婦の心理的ニーズ、効果的コミュニケーション戦略、カウンセリングのポイントなどの担当					
第10回	11月7日	ケーススタディ:多様なニーズへの対応			事前に準備された複数のケーススタディ(異なる価値観、家族構成、予算など)の担当 担当するケーススタディを分析し、チームで解決策やプランニングの方向性を議論し、発表準備を行う					
第11回	11月14日	ウェディングプランの基本コンセプト			個々で検討する結婚式のテーマやターゲット層の共有 基礎知識や市場分析に基づき、自身の興味や強みを活かした結婚式の概念のアイデアを複数考案する					
第12回	11月14日	ウェディングプランのチーム内共有と			各自が考案したコンセプトを発表し、チームとして実現を目指す主要なコンセプトを一つに絞り込む メンバーのアイデアを注意深く聞き、それぞれの強みや視点を活かせるコンセプトとなるよう議論し、チームの方向性を決定する					
第13回	11月21日	ウェディングプランの詳細要素検討			設定したコンセプトに基づき、具体的なターゲット層(年齢、ライフスタイル、価値観など)、現実的な予算規模、結婚式全体の主要な要素(会場、スタイル、特別な演出など)を決定する					
第14回	11月21日	新郎新婦との打ち合わせロールプレイ			決定したターゲット層のニーズや希望する結婚式のイメージを具体的に調査・分析し、予算役割分担(新郎役、新婦役、プランナー役など)、打ち合わせのシナリオ 新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる					
第15回	12月5日	自己点検評価(中間評価)			学習の進捗確認、課題の洗い出し 学んだ内容を一覧化し、達成度を自己評価					
第16回	12月5日	結婚式場の見学準備			見学する結婚式場の選定、各チームが見るべき注目ポイントの設定(例:チャペルの雰囲気、披露宴会場の収容人数とレイアウト、付帯設備 各自で複数の結婚式場の情報を収集し、チーム内で共有・比較検討、見学先の候補を絞り込む					

第17回	12月12日	結婚式場または関連施設の見学	見学時の役割分担（質問担当、記録担当、写真撮影担当など）、追加の質問事項の最終確認	
第18回	12月12日	式場設計の基礎検討	架空の結婚式のコンセプトに基づいた式場のレイアウトの基本的なアイデア出し、装飾の方向性に関するイメージ共有 見学した式場のレイアウトや装飾を参考に、自チームのコンセプトに合うアイデアをスケッチや簡単な図面で表現する	
第19回	12月19日	運営プランの基本的な検討と役割分担	日のゲストの流れ、主要なイベントの時間配分、必要なスタッフの役割分担の基本的な案 基礎知識で学んだ披露宴の流れや、見学で得た情報を基に、具体的なタイムスケジュールと役割分担表の骨子を作成する	
第20回	12月19日	場設計と運営プランのプレゼンテーション	プレゼンテーション構成、発表資料作成担当、発表担当 設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料を作成する。	
第21回	1月16日	ウェディング企画のテーマ選定と基本	どのようなウェディングを企画するか（ターゲット層、コンセプト、独自性など）、企画の実現性についての基本的検討 各チームでアイデアを出し合い、市場のニーズやトレンドを考慮しながら、具体的な企画の方向性を定める	
第22回	1月16日	ウェディング企画の詳細設計（予算と	企画に必要な項目の洗い出しと予算配分、全体のスケジュールと各タスクの期限設定 各項目にかかる費用を調査し、現実的な予算計画を作成する。	
第23回	1月23日	ウェディング企画の詳細設計（リスク	企画実現における潜在的なリスクとその対策、必要な資源（人材、設備 など）の検討 過去の事例などを参考にリスクを予測し、対応策を検討する。企画実現に必要なものをリストアップする	
第24回	1月23日	企画発表の準備とリハーサル	発表の方法（口頭説明、スライド、動画など）、発表資料の最終的な作成、質疑応答の役割分担 企画の魅力を効果的に伝えるプレゼンテーション資料を作成し、チーム内で発表のリハーサルを行い、改善点を見つける	
第25回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィー	フィードバックの分析と改善点の具体化 受けたフィードバックをどのように分析し、企画のどの部分に反映させるか、修正の優先順位をつける	
第26回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィー	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する 他のチームからのフィードバックを整理し、自チームの企画の強みと弱みを明確にする。具体的な改善点をリストアップする	
第27回	2月6日	企画の修正と最終化	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する	
第28回	2月6日	模擬挙式のリハーサルと実証実験	各自の役割（新郎新婦役、司式者役、介添え役、音楽担当など）、進行、必要な備品、当日の動きとセリフを確認する	
第29回	2月13日	模擬披露宴の本番	各自の役割（新郎新婦役、司会者役、サービススタッフ役、受付役など）、進行、演出、必要な備品、ゲストへの対応を学ぶ	
第30回	2月13日	模擬披露宴の本番	良かった点、改善点、個人の学び、連携の反省点 本番を通して得られた気づきや課題を共有し、今後の学習に活かすための分析を行う、役割ごとの貢献度と課題を明確にする	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。 ②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。 ③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分(加減点式or減点式)・時間配分なども明記すること。 ④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。 ⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子
					実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

科目名 ^{1.}		ブライダルプロデュースⅠ		学科名 ^{2.} (コース名)		ブライダルホテル科 ^{6.}		学年 ^{3.}	2学年
授業形態 ^{4.}		演習	学期	後期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}		必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 模擬的な式典と披露宴を追加することで、学生は机上の学習だけでは得られない、時間配分、役割ごとの連携、臨機応変な対応といった実践的なスキルを習得できる。さらに、リハーサルと本番を通して、計画と実行のギャップを肌で感じ、より深い学びへと繋げることができる。振り返りの時間を通して、成功点だけでなく、改善点や課題を明確にすることで、今後の学習や実際の現場での活躍に大きく貢献することが期待できる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 記入要領:書体BIZ UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。教育課程の到達目標(全科目)に対する、当該科目の位置づけとそれに対する到達基準。できる(わかる/理解する)で表現する。							
受講条件		13. 記入要領:書体BIZ UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。当該科目を受講するにあたり必要な条件…国家資格、国家検定、民間検定、単位取得済科目、知っておかなければならない知識や技術を記述すること。							
教科書名		14. Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2023年11月1日 第4版				教材名 ^{15.}	17. オリジナル教材		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC(教員用) 音響・照明(ミキサー) マイク インカム				関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目 ^{18.}		該当なし				関連後科目 ^{19.}	ブライダルプロデュースⅡ		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	10月3日	シラバスの説明、学習計画の作成			学習目標 各自の目標を共有し、チームの方向性を調整 コースの目的・学習目標を理解し、学習計画を立てられる				
第2回	10月3日	ブライダル業界の最新動向を調査・発表			最新情報を収集・分析を行い、プレゼン資料を作成 ブライダル業界の最新動向を把握し、学ぶべきポイントを認識できる				
第3回	10月10日	アクティブラーニングの実践方法を体験			学習手法の選定 各自の学習スタイルを振り返り、最適な手法を議論				
第4回	10月10日	ブライダルプロデュースの基礎を講義			研究テーマの選定 文献や事例を調査し、重要ポイントを抽出				
第5回	10月17日	世界の結婚式について調査・プレゼン			日本(地方)の結婚式を調査するか 資料を収集し、文化背景を比較分				
第6回	10月17日	挙式スタイルの基礎知識			各挙式スタイル(教会式、神前式、人前式、仏前式など)の担当 担当する挙式スタイルの特徴、流れ、歴史、宗教的背景などを調査し、チーム内で共有				
第7回	10月24日	披露宴の流れと構成			披露宴の各プログラム(入場、祝辞、乾杯、食事、余興、退場など)の担当 担当するプログラムの目的、一般的な流れ、注意点、最新の傾向などを調査し、チーム内で共有				
第8回	10月24日	ブライダル関連法規			関連する法律や規制(消費者契約法、著作権法、食品衛生法、JASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)など)				
第9回	11月7日	顧客心理とコミュニケーション			新郎新婦の心理的ニーズ、効果的コミュニケーション戦略、カウンセリングのポイントなどの担当				
第10回	11月7日	ケーススタディ:多様なニーズへの対応			事前に準備された複数のケーススタディ(異なる価値観、家族構成、予算など)の担当 担当するケーススタディを分析し、チームで解決策やプランニングの方向性を議論し、発表準備を行う				
第11回	11月14日	ウェディングプランの基本コンセプト			個々で検討する結婚式のテーマやターゲット層の共有 基礎知識や市場分析に基づき、自身の興味や強みを活かした結婚式の概念のアイデアを複数考案する				
第12回	11月14日	ウェディングプランのチーム内共有と絞り込む			各自が考案したコンセプトを発表し、チームとして実現を目指す主要なコンセプトの一つに絞り込む メンバーのアイデアを注意深く聞き、それぞれの強みや視点を活かせるコンセプトとなるよう設定したコンセプトに基づき、具体的なターゲット層(年齢、ライフスタイル、価値観など)、現実的な予算規模、結婚式全体の主要な要素(会場、スタイル、特別な演出など)を決定する				
第13回	11月21日	ウェディングプランの詳細要素検討			決定したターゲット層のニーズや希望する結婚式のイメージを具体的に調査・分析し、予算				
第14回	11月21日	新郎新婦との打ち合わせロールプレイ			役割分担(新郎役、新婦役、プランナー役など)、打ち合わせのシナリオ 新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる				
第15回	12月5日	自己点検評価(中間評価)			学習の進捗確認、課題の洗い出し 学んだ内容を一覧化し、達成度を自己評価				
第16回	12月5日	結婚式場の見学準備			見学する結婚式場の選定、各チームが見るべき注目ポイントの設定(例:チャペルの雰囲気、披露宴会場の収容人数とレイアウト、付帯設備 各自で複数の結婚式場の情報を収集し、チーム内で共有・比較検討、見学先の候補を絞り込む				
第17回	12月12日	結婚式場または関連施設の見学			見学時の役割分担(質問担当、記録担当、写真撮影担当など)、追加の質問事項の最終確認			21.	
第18回	12月12日	式場設計の基礎検討			架空の結婚式のコンセプトに基づいた式場のレイアウトの基本的なアイデア出し、装飾の方向性に関するイメージ共有 見学した式場のレイアウトや装飾を参考に、自チームのコンセプトに合うアイデアをスケッチ				
第19回	12月19日	運営プランの基本的な検討と役割分担			日のごゲストの流れ、主要なイベントの時間配分、必要なスタッフの役割分担の基本的な案 基礎知識で学んだ披露宴の流れや、見学で得た情報を基に、具体的なタイムスケジュールと役割分担表の骨子を作成する				
第20回	12月19日	場設計と運営プランのプレゼンテーション			プレゼンテーション構成、発表資料作成担当、発表担当 設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料を作成する。				
第21回	1月16日	ウェディング企画のテーマ選定と基本			どのようなウェディングを企画するか(ターゲット層、コンセプト、独自性など)、企画の実現性についての基本的検討 各チームでアイデアを出し合い、市場のニーズやトレンドを考慮しながら具体的な企画の方				
第22回	1月16日	ウェディング企画の詳細設計(予算と			企画に必要な項目の洗い出しと予算配分、全体のスケジュールと各タスクの期限設定 各項目にかかる費用を調査し、現実的な予算計画を作成する。				
第23回	1月23日	ウェディング企画の詳細設計(リスク			企画実現における潜在的なリスクとその対策、必要な資源(人材、設備など)の検討 過去の事例などを参考にリスクを予測し、対応策を検討する。企画実現に必要なものをリストアップする				

第24回	1月23日	企画発表の準備とリハーサル	発表の方法（口頭説明、スライド、動画など）、発表資料の最終的な作成、質疑応答の役割分担 企画の魅力を効果的に伝えるプレゼンテーション資料を作成し、チーム内で発表のリハーサル	
第25回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィードバック	フィードバックの分析と改善点の具体化 受けたフィードバックをどのように分析し、企画のどの部分に反映させるか、修正の優先順位をつける	
第26回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィードバック	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する 他のチームからのフィードバックを整理し、自チームの企画の強みと弱みを明確にする。具体的な改善点をリストアップする	
第27回	2月6日	企画の修正と最終化	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する	
第28回	2月6日	模擬挙式のリハーサルと実証実験	各自の役割（新郎新婦役、司式者役、介添え役、音楽担当など）、進行、必要な備品、当日の動きとセリフを確認する	
第29回	2月13日	模擬披露宴の本番	各自の役割（新郎新婦役、司会者役、サービススタッフ役、受付役など）、進行、演出、必要な備品、ゲストへの対応を学ぶ	
第30回	2月13日	模擬披露宴の本番	良かった点、改善点、個人の学び、連携の反省点 本番を通して得られた気づきや課題を共有し、今後の学習に活かすための分析を行う、役割ごとの貢献度と課題を明確にする	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。21.

当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分(加点式or減点式)・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子
					実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 ^{1.}		セレモニープロデュースⅠ		学科名 ^{2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{5.} ^{6.}			学年	^{3.} 学年
授業形態 ^{4.}		実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}		必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		模擬挙式を施行し、ブライダル科2年生・先生方をお客様とし実施する。模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。							
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名		Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（監修・発行） 2023年11月1日 第4版				教材名 ^{15.} ^{17.}	オリジナル教材		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC（教員用） 音響・照明（ミキサー） マイク インカム				関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目 ^{18.}		該当なし				関連後科目 ^{19.}	ブライダルプロデュースⅠ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月18日	オリエンテーション		授業の概要、模擬挙式までのスケジュールを説明、挙式について 授業の概要と模擬挙式の全体スケジュールを理解し、自身の学びの方向性を明確にできる					
第2回	4月18日	テーマ確定		テーマウエディングについて 挙式のテーマを決める テーマウエディングの意義を理解し、挙式のテーマを企画・決定できる。					
第3回	4月25日	プランニングの発表		役割の決定・進行詳細決定 模擬挙式に必要な役割と進行の全体像を把握し、自分の役割を理解できる。					
第4回	4月25日	模擬挙式進行の決定 役割決定		役割の決定・進行詳細決定 招待状について 役割分担をもとに進行案を具体化し、招待状準備の基本を理解できる。				Bridal Coordinator Text Standard	
第5回	5月9日	模擬挙式準備①		役割分担を行い、各自スケジュールを組み立てる、準備 自身の役割に基づいて作業スケジュールを作成し、準備の計画を立てられる。					
第6回	5月9日	模擬挙式準備②		各役割ごとの準備や練習を行う 各役割に必要な準備物や動きを理解し、練習に取り組むことができる。					
第7回	5月16日	模擬挙式準備③		各役割ごとの準備や練習を行う 他の役割と連携しながら、模擬挙式に向けた練習を重ねられる。					
第8回	5月16日	模擬挙式準備④		各役割ごとの準備や練習を行う 実際の動きを想定したりリハーサルの練習を進められる。					
第9回	5月23日	模擬挙式準備⑤		各役割ごとの準備や練習を行う 招待状発送					
第10回	5月23日	模擬挙式準備⑥		各役割ごとの準備や練習を行う 役割に応じたパフォーマンス力やチーム力を高めることができる。					
第11回	5月30日	模擬挙式準備⑦		各役割ごとの準備や練習を行う 自身の課題を把握し、改善に向けた具体的行動を起こせる。					
第12回	5月30日	模擬挙式準備⑧		各役割ごとの準備や練習を行う 本番に向けた最終的な準備・仕上げができる状態になっている。					
第13回	6月6日	音響・照明について①		【照明】オリエンテーション、照明概要（スタジオ）、取り扱い（チャペル） 照明機材の基本とチャペルでの使用方法を理解できる。					
第14回	6月6日	音響・照明について②		【音響】オリエンテーション、講義兼取り扱い実習（チャペル・スタジオ） 音響の基本構造と実際の操作方法について理解できる。					
第15回	6月13日	音響・照明について③		【音響】取り扱い実習（披露宴会場） 実際の会場で音響機材の操作ができるようになる。					
第16回	6月13日	音響・照明について④		【音響】取り扱い実習（チャペル） チャペルにおける音響の取り扱いができるようになる。					
第17回	6月20日	演出・アイテム準備①		ミーティング 模擬挙式で使用するアイテム・演出について企画・検討できる。				21.	
第18回	6月20日	演出・アイテム準備②		備品、アイテム 最終確認 使用するアイテムの最終確認ができ、準備完了の状態に上げることができる。					
第19回	6月27日	音響・照明について⑦		【照明】オリエンテーション、照明概要（スタジオ）、取り扱い（チャペル） スタジオやチャペルでの照明操作を実践できる。					
第20回	6月27日	音響・照明について⑧		【音響】取り扱い実習（チャペル） 音響操作を実践的に使いこなすことができる。					
第21回	7月4日	音響・照明について⑨		【照明】オリエンテーション、照明概要（スタジオ）、取り扱い（チャペル） チャペル照明の流れや動作確認をスムーズに行える。					
第22回	7月4日	音響・照明について⑩		【音響】取り扱い実習（チャペル） 音響のタイミング調整と操作をリハーサル形式で行える。					
第23回	7月11日	音響・照明について⑩		美術仕込み・セッティング 仕込み・オペレート練習					
第24回	7月11日	模擬挙式リハーサル②		美術仕込み・セッティング きっかけ・シーン確認					
第25回	7月17日	模擬挙式リハーサル①		本番想定のリハーサルを行う 本番と同じ流れでリハーサルを通し、自信をもって動ける状態に仕上げる。					
第26回	7月17日	模擬挙式リハーサル②		本番想定のリハーサルを行う チームでの最終確認を行い、当日の動きを最適化できる。					
第27回	7月18日	模擬挙式本番		本番同様 全てを通して行う 本番同様の模擬挙式を通して、各自の役割を責任をもって果たすことができる。					
第28回	7月18日	模擬挙式本番		本番同様 リハーサル 本番直前のリハーサルを的確に行い、全体の精度を高める。					
第29回	7月18日	模擬挙式本番		準備・仕度 挙式に向けた準備・身だしなみ・立ち居振る舞いを整えることができる。					
第30回	7月18日	模擬挙式本番		片付け 振り返り					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}									

成績判定に関して

①自己評価 評価シートに基いて自己評価を行う【配分20%】

②課題レポート【配分30%】

期日までに提出なし 評価なし

③授業態度【配分50%】

欠席－3点 遅刻－1点 積極性なし－3点 協調性なし－3点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
②確認テスト							
③課題レポート		1位				30	
④授業態度			2位	1位		50	
⑤作品						なし	
⑥自己評価		2位	1位			20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

科目名 ^{1.}		セレモニープロデュースⅠ		学科名 ^{2.} (コース名)		5.	
-------------------	--	--------------	--	-----------------------------	--	----	--

第 2 9 回	7月26日	模擬挙披露宴本番	オープンキャンパスで実施 模擬披露宴本番を実施し、準備した内容を実践に移すことで、プロデュース力を総合的に評価する	
第 3 0 回	7月26日	模擬挙披露宴本番	オープンキャンパスで実施 模擬披露宴本番を実施し、準備した内容を実践に移すことで、プロデュース力を総合的に評価する	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

成績判定に関して
①自己評価 評価シートに基いて自己評価を行う 【配分20%】
②課題レポート 【配分30%】
期日までに提出なし 評価なし
③授業態度 【配分50%】
欠席－3点 遅刻－1点 積極性なし－3点 協調性なし－3点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
②確認テスト							
③課題レポート		1位				30	
④授業態度			2位	1位		50	
⑤作品						なし	
⑥自己評価		2位	1位			20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

科目名 ^{1.}	インターシップⅠ		学科名 ^{2.} (コース名)	5. プライダルホテル科		6.	学年	3. 学年
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	6月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. プライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名		14. ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー 著者：長谷川文代 発行：株式会社西文社			教材名 ^{15.}	オリジナル教材		
設備名・機器名		16. 教材投影用プロジェクター・PC（教員用）			関連サイト ^{17.}	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目		18. 該当なし			関連後科目 ^{19.}	インターシップⅡ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回		インターシップとは		インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。インターンシップの意味やメリットを理解し、各自の意志を明確にすることができる				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第2回		心を伝えるコミュニケーション・スキル		インターンシップを成功するために必要とされるマナーや仕事をする上で必要なスキルを学ぶ ビジネスマナーと身だしなみ、挨拶、ホウレンソウなどを体得する				ワークで学ぶインターンシップ
第3回		業種や職種を調べる		業種や職種に関して隔たりなく調べることで、学生の職業観を正しく導き出すことができる 業種や職種をピックアップすることで業界を深く理解することができる				ワークで学ぶインターンシップ
第4回		直前にすべきこと・インターシップ中に気をつけること		実習日誌の書き方、インターシップに関する再確認、インターシップに気をつけること これまで学んだことを振り返ることで、インターシップへの動機付けを理解する				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第5回		実務研修		受入れ事業所で就業体験（実習日誌） 実際の職場で、高度な知識や技術に触れながら実務能力を高めていくことができる				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回		事後研修・インターンシップ報告会		インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第16回								
第17回								
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①課題レポート (提出物:事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合、あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) ②プレゼンテーション インターンシップ活動の成果を各自、発表する。 (点数配分:減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分:1人10分以内) ③授業態度 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする” ④演習 インターンシップ先担当者により評価								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート			1位				10	良（B）： 79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）： 69点～60点
⑤演習		2位		1位			50	不可（E）:59点以下
⑥発表			2位	1位			20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		村瀬 孝	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子・村瀬 孝		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		

科目名 ^{1.}		インターシップⅡ		学科名 (コース名) ^{2.}		プライダルホテル科				学年		1 ^{3.} 学年			
授業形態 ^{4.}		実習		学期		後期		開講年月 ^{5.}		10月		該当資格区分 ^{6.}		該当なし	
教育課程区分 ^{7.}		必修		単位数 ^{8.}		2		時間数 ^{9.}		60		該当資格名称 ^{10.}		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. プライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。 ^{8.}													
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる ^{9.} 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける													
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること。 ^{12.}													
教科書名		14. ^{8.} ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー 著者：長谷川文代 発行：株式会社西文社 ^{16.}								教材名 ^{15.}		17. オリジナル教材			
設備名・機器名		1. 教材投影用プロジェクター・PC（教員用）								関連サイト		参考となる引用、関連するページタイトル/URL			
関連前科目		18. ^{1.} 該当なし ^{14.}								関連後科目 ^{19.}		インターシップⅡ			
1. 授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上 目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}															
回(コマ)		開講日		1 授業コマの主題(タイトル)				各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材	
第1回				1 インターシップとは				1 インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。 インターンシップの意味やメリットを理解し、各自の意志を明確にすることができる						ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第2回				心を伝えるコミュニケーション・スキル				インターンシップを成功するために必要とされるマナーや仕事をする上で必要なスキルを学ぶ ビジネスマナーと身だしなみ、挨拶、ハウレンソウなどを体得する						ワークで学ぶインターンシップ・	
第3回				業種や職種を調べる				業種や職種に関して隔たりなく調べることで、学生の職業観を正しく導き出すことができる。 業種や職種をピックアップすることで業界を深く理解することができる						ワークで学ぶインターンシップ・	
第4回				直前にすべきこと・インターシップ中に気をつけること				実習日誌の書き方、インターシップに関する再確認、インターシップに気をつけること これまで学んだことを振り返ることで、インターシップへの動機付けを理解する						ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第5回															
第6回															
第7回															
第8回															
第9回															
第10回															
第11回															
第12回															
第13回															
第14回															
第15回				2 実務研修 ^{2.}				23 受入れ事業所で就業体験（実習日誌） 実際の職場で、高度な知識や技術に触れながら実務能力を高めていくことができる ^{24.}						ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー+L18:M35	
第16回				2				23						24.	
第17回															
第18回															
第19回															
第20回															
第21回															
第22回															
第23回															
第24回															
第25回															
第26回															
第27回				事後研修・インターンシップ報告会				インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通して得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第28回															
第29回															
第30回															
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}															

①課題レポート (提出物:事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合, あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) ②プレゼンテーション インターンシップ活動の成果を各自、発表する。 (点数配分:減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分:1人10分以内) ③授業態度 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする” ④演習 インターンシップ先担当者により評価							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀(S):100点~90点 優(A): 89点~80点 良(B): 79点~70点 可(D): 69点~60点 不可(E):59点以下
②確認テスト						なし	
③課題レポート		1位				10	
④授業態度			2位	1位		10	
⑤演習	2位		1位			50	
⑥発表		2位	1位			20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子・村瀬 孝
				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beautv.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 ^{1.}	プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ		学科名 (コース名) ^{2.}	5. プライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{3.}	2学年
授業形態 ^{4.}	講義	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 当該科目では、プレゼンテーションの基礎理論から実践までを体系的に教授する。プレゼンテーションの定義や種類、目的の理解を深めた後、聴衆に伝わる話し方や表現方法を教授する。また、実際にスピーチやディスカッションを行い、後半はディベートを通じて論理的な思考力・対話力を養成します。 現場で、自作のプレゼンテーションを自信を持って発表できる力を身につけます。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. プレゼンテーションの基本概念と役割を理解できる。 聴衆分析に基づく効果的な話し方・表現方法を身につけることができる。 自分の意見をわかりやすく伝え、他者と建設的に議論できる。 現場では、自作プレゼンテーションを自信を持って実施できる。 ^{9.}							
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること							
教科書名	14. 社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎 発行者：古谷 治 2017年5月1日第1版第2刷				教材名 ^{15.}	オリジナルプリント オリジナルパワーポイント		
設備名・機器名	16. 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ^{17.}			
関連前科目	18. 該当なし		14.		15.		関連後科目 ^{19.}	プレゼンテーションⅡ
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	9月29日	プレゼンテーションとは		プレゼンテーションの種類を定義について プレゼンテーションの種類や定義を理解し、基本的なイメージを持つことができる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第2回	10月6日	コミュニケーションとプレゼンテーション		コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて コミュニケーションとプレゼンテーションの違いを理解し、場面に応じた使い分けができる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第3回	10月20日	プレゼンテーションの目的		紹介のプレゼンテーション プレゼンテーションの目的を理解し、紹介プレゼンテーションの基本形を作成できる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第4回	10月27日	プレゼンテーション準備と流れ1		聞き手の分析や目的の明確化 聴き手を分析し、プレゼンテーションの目的を明確に設定できる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第5回	11月10日	プレゼンテーション準備と流れ2		プラン作成やツールについて プレゼンテーション計画(プラン作成・ツール選定)を立てられるようになる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第6回	11月17日	聴衆に好感を持たれる話し方の基本		聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ 聴衆に好感を持たれる話し方の基本を理解し、実践できる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第7回	12月8日	バーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法 バーバル表現(言語表現)に注意し、説得力のある話し方ができる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第8回	12月15日	ノンバーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法 ノンバーバル表現(非言語表現)を意識して、態度・演出を工夫できる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第9回	12月22日	身近なプレゼンテーション		スピーチ・フリートーク 身近なテーマについてスピーチ・フリートークができるようになる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第10回	1月19日	ディベート理論		インタビューをしてみよう インタビュー形式で相手から情報を引き出す会話ができる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第11回	1月26日	ディベート理論		会議と司会をしてみよう 会議・司会進行を通して、議論を円滑に進める方法を身につける。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第12回	2月2日	ディベート理論		学校生活について話してみよう 自分の学校生活に関する意見をまとめ、他者に伝えられる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第13回	2月9日	ディベート理論		グループワーク グループワークで意見を出し合い、ディスカッションを成立させることができる。			社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第14回	2月16日	発表に向けてのリハーサル					社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎	
第15回		プレゼンテーション発表と振り返り		自作のアイテムを自信を持ってプレゼンし、評価を通して自己表現力を高める。				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
【プレゼンテーション】【作品】 各学生が構成した商品プランを作成した資料、アイテムを効果的に使用し、説得力(メリット・効果)、対応力(顧客ニーズ)、表現力(オリジナリティ)などの提案力をプレゼンテーション実技にて評価する。 【課題レポート】【授業態度】 授業毎の要点に対する理解度をレポート提出にて評価する。他学生のプレゼンテーション実技中において、聞き手としての態度、質問、合評レポート提出にて評価する。 【欠席】成績評価点から(欠席回数×7%)を減算								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀(S):100点~90点
②確認テスト							なし	優(A):89点~80点
③課題レポート		1位	2位				10	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品			1位			2位	20	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション				2位		1位	60	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	國定 章子		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								

科目名 ^{4:}		ブライダル企業研究		学科名 ^{2:} (コース名)	5.ブライダルホテル科		6.学年	1学年
授業形態 ^{4:}		講義	学期	前期	開講年月 ^{5:}	4月	該当資格区分 ^{6:}	該当なし
教育課程区分 ^{7:}		必修 ^{4:}	単位数 ^{8:}	1	時間数 ^{9:}	30	該当資格名称 ^{10:}	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11.当該授業では、ブライダルおよびホテル業界に関わる主要企業の理念・サービス・文化などを調査・分析し、学生自身の進路選択に活かすことを目的とする。グループワークやプレゼンテーションを通して情報収集力や発信力を高め、将来の志望企業を見つけ、自分自身の強みや価値観と結びつけて表現できる力を教授する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12.業界の主要企業について理解し、企業理念・サービスの違いを比較し、自身の志望先を考える力を育む。						
受講条件		13.YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12:}						
教科書名		14.該当なし				教材名 ^{15:}	オリジナル教材	
設備名・機器名		16.教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト ^{17:}	参考となる引用、関連するページタイトル/URL	
関連前科目		18.該当なし				関連後科目 ^{19:}	インターンシップⅠ・Ⅱ	
20.授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	1授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月17日	ガイダンスと業界地図 ¹		授業概要説明、ブライダル・ホテル業界の全体像、企業研究の目的 授業の目的と流れを理解し、業界構造を把握する				オリジナルプリント
第2回	4月25日	ブライダル業界の主な企業		テイクアンドギヴ・ニーズ、ノバレーゼ、Plan・Do・Seeなどを紹介・比較 業界の代表的企業の特徴を知る				オリジナルプリント
第3回	5月7日	ホテル業界の主な企業		星野リゾート、プリンスホテル、帝国ホテルなどの特徴と強み ブライダルと連動するホテル企業の特徴を知る				オリジナルプリント
第4回	5月14日	企業理念・ビジョンを読む		各社の企業理念の違いを読み解き、価値観を比較 企業の価値観を読み解く力をつける				オリジナルプリント
第5回	5月21日	OB・OGインタビュー分析		実際の声から企業文化を探る（動画・記事・インタビュー） 実際の声から企業の雰囲気を理解する 卒業生の声を通じて企業文化を理解し、働くイメージを具体化する				オリジナルプリント
第6回	5月28日	サービスの違いと強み分析		サービス内容の具体例（接客、式の進行、空間デザインなど）を比較 各社の接客や空間づくりの強みを比較				オリジナルプリント
第7回	6月3日	グループ研究:企業紹介		グループで企業を1社選定し、紹介プレゼン準備 企業を選定し、調査の方向性を決める				オリジナルプリント
第8回	6月12日	施設視察①		アイネス宝ヶ池様 ゲストハウスウェディング研修 実際のゲストハウスを見学し、現場でのサービスや空間構成を学ぶ				オリジナルプリント
第9回	6月12日	施設視察② 振り返り		ゲストハウスウェディング研修 見学内容を振り返り、学んだ点を自分の言葉で整理できる				オリジナルプリント
第10回	6月18日	施設視察③		リーガロイヤル京都様 ホテル（ウェディング）研修 ホテルでのブライダル運営を見学し、ホテル型の特性を理解する				オリジナルプリント
第11回	6月18日	施設視察④ 振り返り		施設見学の振り返りを行う 見学全体の気づきを整理し、他の業態との比較視点を養う				オリジナルプリント
第12回	7月9日	自己の志望企業探し		自分に合う企業はどうか？価値観・強みと照らし合わせて考える				オリジナルプリント
第13回	7月16日	インターンシップに向けて		希望する職種、形態を決定する 第1回目のインターンシップの希望先を定める 自分の価値観や強みを踏まえて、志望企業の方向性を明確にできる				オリジナルプリント
第14回	7月22日	まとめとインターンに向けての心構え		インターンシップ準備を進める インターン前の準備を整え、実習に向けた意識を高めることができる				オリジナルプリント
第15回	9月3日	2まとめ		成績判定試験 授業の学びを総括する個人レポート				
21.成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験（第15回）【配分：30％】 形式：記述式課題レポート 20点 口頭試問業界理解＋志望動機＋印象に残った企業などをまとめ実施する10点								
②プレゼンテーション【配分：20％】 形式：グループプレゼンテーション 情報の正確さ 5点（企業情報のリサーチが正確で信頼性があるか） チームワーク・役割分担 5点（メンバー全員が役割を持って参加しているか） プレゼンの構成・表現力 5点（分かりやすく整理されていて、聞き手に伝わる工夫があるか） 分析・視点 5点（紹介でなく、自分たちの視点での比較や分析があるか）								
③課題提出【配分：20％】 提出期日までに未提出であれば点数なし 提出されるレポート、振り返りシート、企業分析シートなどの提出状況と質で評価する。第5回・6回・9回・11回（各5点）								
④授業態度【配分：30％】 1コマ欠席につき－1点、授業中に2回注意を受けた場合－3点 グループ活動・視察・ディスカッションへの積極的な関わり								
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分％にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位		2位			なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点

③課題レポート	2位	1位				40	良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
④授業態度			2位	1位		30	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション			2位	1位		30	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					